

1 題材名 うつしてあそぼう

2 題材の目標

- 凹凸のある場所に紙を当て、形をこすり出したり見立てたりすることを楽しもうとする。
(造形への関心・意欲・態度)
- 写すものの形の面白さに気付き、写すものを見付け、使う色を考える。
(発想や構想の能力)
- 写し取った形や色などを生かし、かき加えや組合わせを工夫して表す。
(創造的な技能)
- 写し取った形や組み合わせた作品の面白さや楽しさを感じる。
(鑑賞の能力)

3 題材について

(1) 題材観

本題材は、第1学年及び第2学年の内容である、A表現(1)ア「身近な自然物や人工の材料の形や色などを基に思い付いてつくること。」ならびに、(2)ア「感じたことや想像したことから、表したいことを見付けて表すこと。」に対応している。自分の思いに合わせて、試したり見付けたりしながら、自分らしい造形的な発見と表現活動を行うことができると考える。ここでは、様々な写し取り方を試しながら、できた形や色を楽しんだり、自分なりの表現を工夫したりすることができるようにしたい。

(2) 児童の実態

本学級の児童は、絵をかいたり、ものをつくったりすることに意欲をもって積極的に活動している。個々の思いをもち、いろいろと楽しんで表現している児童が多いが、自分の表したいものがイメージできなかつたり、早くつくり終わらせようとして発想力に欠けてしまつたりする児童も少なくない。そこで、形や色などとの出会いを大切に、友人の作品を見たり話し合ったりする活動を通して、自分なりのイメージを広げながら工夫して表すことができるようにしていきたい。

(3) 指導観

まず、身近にあるものをこすり出しながら、形を写し取る活動を十分に楽しめるようにする。その際、描画材や色の選び方などについても考えられるように支援を行う。また、材料や用具を使う際には、その使い方を示した「なるほどコーナー」で常に確認できるようにする。次に、写し取った形や色などから見えてくるものを想像して、話し合う時間をとることで、表したいことを思い付いたり、つくり方を考えたりするきっかけとする。製作では、グループの形態を取り入れて、児童がつくりながら互いの作品を見合い、話し合うことができるようにする。互いに見合う活動を通して、形や色、表し方の面白さ、材料の感じなどに気付き、それを自分の表現にも加えながら工夫して表せるようにしていきたい。さらに、製作の途中でも、他のグループの友人とのやり取りをすることで、発想や構想の広がりを引き出し、製作の最後まで創造性豊かに活動できるようにしていきたい。

4 指導と評価の計画(4時間扱い) ○は本時

時	学習活動	評 価				
		関	発	創	鑑	評価規準(方法)
1	・身近にあるものから形をこすりだして、紙に写し取る。	○	○			・こすり出しの方法を知り、興味や関心をもって取り組もうとする。 (観察・作品) ・写すものの形の面白さに気付き、写すものを見付けたり、使う色を考えている。 (観察)
② 3	・写し取った形から、見立て遊びをし、新しい作品をつくる。		○	○		・写し取った形や色などから、表したいことを思い付いたり、つくり方を考えたりしている。 (観察・作品) ・自分のイメージを基に、かき加えや組合わせを工夫して表わしている。 (観察・作品)

4	・お互いに作品を鑑賞する。	○	・お互いの作品を見せ合い、話し合うことで面白さや楽しさを感じている。 (観察・鑑賞カード)
---	---------------	---	--

5 本時の学習

(1) 目標

形や色などから見立てたイメージを基に、かき加えや組合せを工夫して作品をつくることができる。

(2) 準備・資料

教師…上質紙，画用紙，カラーペン，写すもの（かご，洗濯ばさみ，テープの芯など）
児童…クレヨン，色鉛筆，はさみ，のり

(3) 展開

学習計画及び学習内容	指導上の留意点 ◎評価 ☆心をつなぎ合う視点からの手立て
<p>1 めあてを確かめる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>なににみえるかかんがえてつくろう。</p> </div> <p>2 写したものが何に見えるか考えて、工夫してつくる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・木に見えてきたから、たくさん貼って森にするよ。 ・半分だけのりを付けて紙を折って貼りたいな。 ・写したものをつなげたら楽しそうだな。 ・○○さんの貼り方，おもしろいな。 ・どうやってつくったのか教えてもらおう。 ・他のグループの友だちはどんなものをつくっているかな。 ・飛行機に乗っている動物をかきたいな。 <p>3 活動を振り返り，次時の学習活動について話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・他にも貼りたいものができたから次でやってみよう。 ・○○さんの使っている色はすてきだから，自分も使ってみよう。 	<ul style="list-style-type: none"> ・前時の活動で写したものを実物で示したり，ICT機器で拡大したりして 全員が作品をよく見て確認することができるようにする。 ・写したものについて話し合うことで，いろいろな見え方があることに気付くようにする。 ・材料や用具の使い方を確認して，安全面に気を付けて活動できるようにする。 ・「なんでもコーナー」を設置して，児童が持っていない材料や用具を使えるようにし，いろいろな方法を試して活動を楽しめるようにする。 ・「なるほどコーナー」を設置して，製作の途中でも材料や用具の使い方を確認できるようにする。 ・一人一人の思いを聞いたり，工夫されている所をほめたりして意欲を高め，自分のつくりたいものにしっかりと向き合えるようにする。 ・グループでつくっているものが似通っていたり，活動が停滞気味だったりするときは，他のグループの作品を見合い，形や色，表し方の楽しさや面白さに触れさせ，自分らしい造形的な表現を更に広げていく助けとしたい。 ☆グループ間の移動は自由にできるようにし，自分に必要なタイミングで見たり，「見てみようタイム」で作品を見る時間を設けたりして，多くの工夫に気付けるようにする。 【コミュニケーション力】 ☆友人の作品のよいところや面白いところは友人にも伝え，自分の作品にいろいろな方法で取り入れてよいことを伝える。 【思いやり】 ◎形や色などから見立てたイメージを基に，かき加えや組合せを工夫して作品をつくっている。（観察，作品） ・思うようにつくることができない児童には，どのように見えるかを一緒に確認したり，つくりたいものが似ている作品を見せたりすることで活動を支援する。 ・本時の活動を振り返り，自分はどのように見えてつくったのか話し合う。 ・次時は，つくりたいものに合うように写したものを構成したり，必要なものをかき加えたりして，更に工夫してつくっていくことを確認する。 ・表したことを基にしながら，更に発想や構想を広げていけるように，お互いの作品を見たり，話し合ったりできるようにする。